



学び合い 認め合い 高め合う学校 ～笑顔 感動 花いっぱいの南小～

南小だより

令和7年5月30日(金)第3号

校長 河野 裕一

【学校教育目標】

やさしく (徳) かしく (知) たくましく (体)

【6月の生活目標】

時間を守って生活しよう

勝敗の先にある学び

先日行われた運動会には、多くの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、子供たちへの温かい声援をいただきましたことに、心より御礼申し上げます。また、当日に向け、各ご家庭で子供たちに多くの励ましをいただいたことにも改めて感謝申し上げます。



「みんなで 全力で 協力して あきらめない 南っ子」のめあてをもとに、子供たちは全力で演技や競技、応援に取り組みました。一人一人の真剣な表情や仲間と力を合わせる姿は、私たちの心を打つものでした。

さて、近年「勝敗を競い合うこと」に対して、特に成長の途中にある子供たちにとって、過度な競争がストレスになるのではないかと、敗北感が大きな挫折につながるのではないかと、といった慎重な意見を耳にすることがあります。こうした考えには一理あり、私たちも真摯に受け止める必要があると感じています。

このようなことに関連して、私自身にも苦い経験があります。私は小学生のころから野球が大好きでした。しかし、高校の野球部は、いわゆる「勝利至上主義」で、試合に負けたり、ミスをしたすれれば厳しく叱責される環境であったため、常に監督の顔色を伺い、チームメイトと失敗を責め合うような、私にとって決して居心地のよい場所ではありませんでした。本来、それまでの私にとって、野球は、自身の技術の向上に加え、仲間と力を合わせながら勝利を目指す一体感や、相手と競い合うことの高揚感が味わえる楽しいものでした。にもかかわらず、当時の私たちは「勝つことがすべて」という考えに囚われ過ぎ、野球そのものの楽しさや、仲間と支え合う大切さを見失っていたように思います。

こうした経験から、私は「勝敗を競い合うこと」そのものに問題があるのではなく、それとどのように向き合い、活かしていくのが大切ではないかと考えるようになりました。「勝ちたい」と願うからこそ、努力し、仲間と協力し、自分の限界に挑もうとする。そうした真剣な取り組みの中にこそ、普段の生活では得られない深い学びと感動があるのではないかとと思うのです。今回の運動会を例にとっても、子供たちは練習を重ね、仲間と声をかけ合い、励まし合ってきました。その過程で学んだことや感じたことは、子供たちの心の中に深く刻まれているはずで、勝ったときには、その喜びを仲間と分かち合い、相手を称えること。負けたときには、その悔しさを次の挑戦への活力とするとともに、相手に敬意を払うこと。こうした姿勢を育むことが、「勝敗を競い合うこと」を通した大きな教育的価値なのではないかと考えます。



運動会だけを見ればたった半日の行事です。しかし、そこに向けて過ごしてきた日々には、確かな成長の足跡が残っています。勝敗を競い合うことで、その先にある大切なことを確かに学び得たのではないかと、子供たちの姿に思います。

今後とも、子供たちにとって有意義な学びの場を、保護者の皆様、地域の皆様とともに提供していきたいと思っております。引き続きご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

開校記念日

6月10日(火)は南小学校46回目の開校記念日です。そこで、南小のシンボルをご紹介します。

【校章】



図案制作者は、坂戸市千代田にお住まいの□□□□氏です。

さつきの花と葉、校名の南を組み合わせ、円満な人格と協力する心を表し、花と葉が円の中央から力強く伸びていることから、限りない前進と発展を表し、のびやかでやさしい人間の成長を願っています。

【シンボルツリー：楠（くすのき）】



開校間もない昭和60年代に、「南小の木」として植樹されました。その後大きく成長し、南小の子供たちを見守っています。

【南小マスコット：なんぷう】



名前の由来は「南の風」です。校歌の歌詞にある「太陽に向かって1・2・3」のように、太陽のような「たてがみ」が特徴です。しっぽも校歌の歌詞にある「生まれたばかりの若い芽」を表しています。

後ろ姿は南小のシンボルツリー、楠をイメージしています。



【学問の木（楷の木）】



この木は、2500年以上前の中国、孔子廟から命が紡がれ続けてきたものです。儒教の祖、孔子に縁のあることから「学問の木」と呼ばれています。湯島聖堂より南小の子供たちの学業の充実・発展のため、平成17年に寄贈されました。

漢字検定

今年度も学習意欲や漢字能力の向上を目的として、本校を会場に日本漢字能力検定を実施いたします。実施日時については以下の通りです。

・8月21日(木)

どちらも午前中に実施します。

・1月31日(土)

両日の受検も可能です。

詳細については、後日改めてご連絡します。なお、本校児童だけでなく、本校に児童が在籍するご家族の方も受検できます。

また、実施にあたり受検監督等のボランティアも募集いたします。

ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

学校運営協議会

学校運営協議会とは、保護者、地域住民、学校職員等で構成され、学校と地域社会が連携・協働し、よりよい学校運営を目指すための合議制の機関です。

具体的には、学校が提示する学校経営の基本方針等について、委員の皆様からご意見をいただきます。このことにより、学校運営に多様な視点が入り入れられ、地域の実情や保護者の皆様のニーズに応じた教育活動の展開を目指しています。

委員の皆様は、それぞれの立場からの知識や経験を活かし、活発な議論を通じて学校運営の改善に貢献してくださっています。

坂戸市教育委員会から委嘱された今年度の委員の皆様をご紹介します。(順不同)

- ・□□ □□ 様(スクールガードリーダー・学校応援団長)
- ・□□ □□ 様(民生児童委員)
- ・□□ □□ 様(民生児童委員)
- ・□□ □□ 様(民生児童委員)
- ・□□ □□ 様(女子栄養大学専任講師)
- ・□□ □□ 様(千代田地域交流センター所長)
- ・□□ □□ 様(坂戸市立坂戸中学校長)
- ・□□ □□ 様(坂戸市立千代田中学校長)
- ・□□ □□ 様(本校PTA会長)



学校ホームページでも学校の様子を随時掲載しております。

「お気に入り」等にご登録いただき、ご覧ください。